

はじめに

一宮市博物館は昭和 62 年（1987）11 月の開館以来、郷土の歴史を発掘し、先人の文化遺産を護り、それらを後世に伝える施設として活動を行ってきました。ここに、『一宮市博物館年報(15) 平成 27・28 年度』を刊行し、平成 27・28 年度の事業について報告します。

この間における大きな事業としては、平成 27 年度は、4 月 1 日に旧豊島図書館が耐震補強工事を経て豊島記念資料館として予約見学を開始し、博物館運営等指導委員会を博物館運営協議会に改組しました。また、屋上の空冷ヒートポンプチラー CH-2（24 時間系）を更新しました。平成 28 年度は、和室内各所の修繕を行い、快適な利用空間の環境を整備しました。

展覧会事業としては、平成 27 年度には、特別展「浮世絵展～描かれた風景～」を開催し、歌川広重の東海道五十三次の 55 点に加え、異版（変わり図）6 種を比較して紹介しました。また、平成 17 年の一宮市・尾西市・木曾川町の合併から 10 年を記念して、現一宮市となった各地域の資料で振り返る企画展「合併 10 周年記念～いちのみやのあゆみ～」を開催しました。夏休み小展示「うつわのうつりかわり」では、小中学生にわかりやすく考古遺物から現代につながる変遷を展示しました。平成 28 年度には、郷土ゆかりの浅野長政を中心に浅野公園の始まりを紹介した特別展「三英傑とともに歩んだ浅野長政～いちのみやの戦国時代～」を開催しました。また、博物館に寄贈された絵画作品の中から、尾張出身の洋画家の作品を集めた企画展「尾張洋画入門」、小中学生を対象とした夏休み小展示「土の中のいちのみや」、現代アート作品が県内 4 市町を巡回する企画展「モバイル・トリエンナーレ～旅する展覧会 現代アートがまちにやってくる！～」を開催しました。また、一宮美術作家協会展、一宮写真協会選抜写真展、一宮市現代作家美術秀選展と、市内小学校との連携による企画展「くらしの道具」を毎年異なるサブテーマを設定して継続してまいりました。

また、「古文書講座」、博物館講座「尾張平野を語る」、「たいけんの森」わくわく体験などの各種普及事業にも力を入れてまいりました。そのほか文化財保護事業の一環として開催してきた「市民文化財めぐり」や「民俗芸能公演」なども数多く参加していただきました。

こうしたこれまでの活動を振り返る本年報を刊行することにより皆様のご助言を仰ぎ、博物館活動・文化財保護のさらなる充実に努めたいと存じます。今後とも市民の皆様をはじめ関係各位の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

一宮市博物館